TableCheck

「飲食店応援」特別企画 活用事例



目 次

①InstagramにTableCheckのURLをセット

②LINEにTableCheckのURLをセット

③FacebookにTableCheckのURLをセット

④TableCheck URL をQRコード化し、チラシにセット

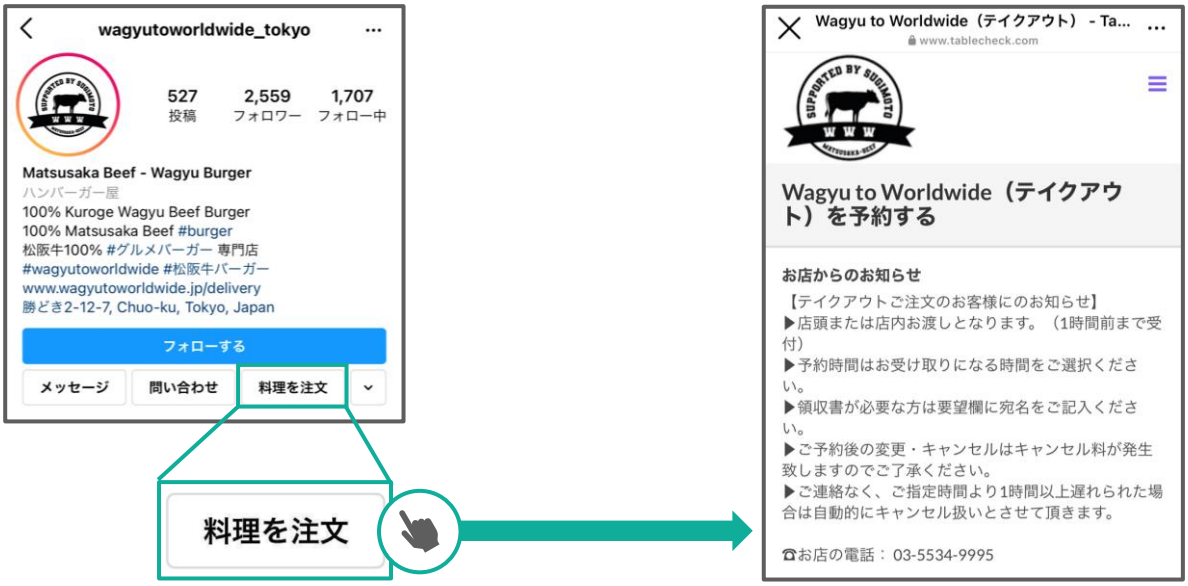
参考ページ付き！

★セットするTableCheckのURLには必ずパラメーターを付けましょう！

①InstagramにTableCheckのURLをセット

＜参考店舗＞ Wagyu to Worldwide 様

InstagramページQRコード
※スマートフォンからご確認ください



[料理を注文]ボタンに、
TableCheckの予約リンクを設置

どちらかをタップすると、
TableCheckの予約ページに移動

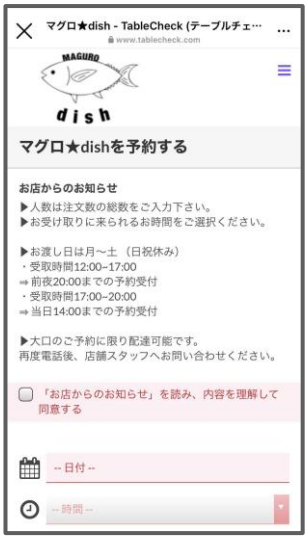
Click **Instagram連携【食べ物を注文】【ギフトカード】**

Click **【Instagram】ショッピング機能について**

＜参考店舗＞ マグロ★dish 様

InstagramページQRコード
※スマートフォンからご確認ください





TableCheckの予約リンクを設置

タップすると、TableCheckの予約ページに移動

②LINEにTableCheckのURLをセット

＜参考店舗＞ 頤和園　溜池山王店 様





TableCheckの予約リンクを
投稿に設置

タップすると、TableCheckの予約ページに移動

Click　**LINE公式アカウントの始め方**

Click　**開封率・クリック率が高い「リッチメッセージ」が重要！作成・導入事例**

③Facebook にTableCheck URL をセット

＜参考店舗＞ The Chelsea 様　　※現在は販売を停止されています



プロフィールの[その他]から[ショップ]に進む



メニューをタップ



[ウェブサイトで見る]をタップ



TableCheckの予約ページに移動

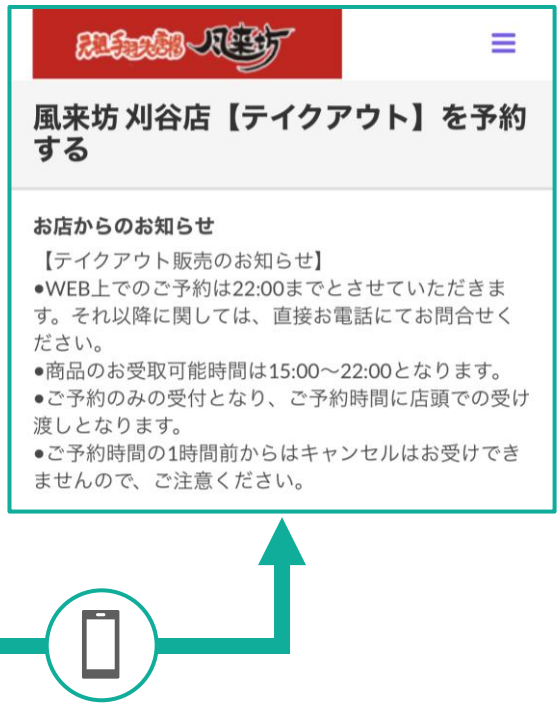
Click　**Facebook活用シリーズ一覧**

Click　**【Facebook】ショップに商品を追加する方法**

④TableCheck URL をQRコード化し、チラシにセット

＜参考店舗＞元祖手羽先唐揚 風来坊 様　　※現在は販売を停止されています





QRコードを読み込む　　TableCheckの予約ページに移動

他にもこのような方法で！ 宣伝＆予約窓口の拡大！

Xでテイクアウト販売を開始したことを宣伝



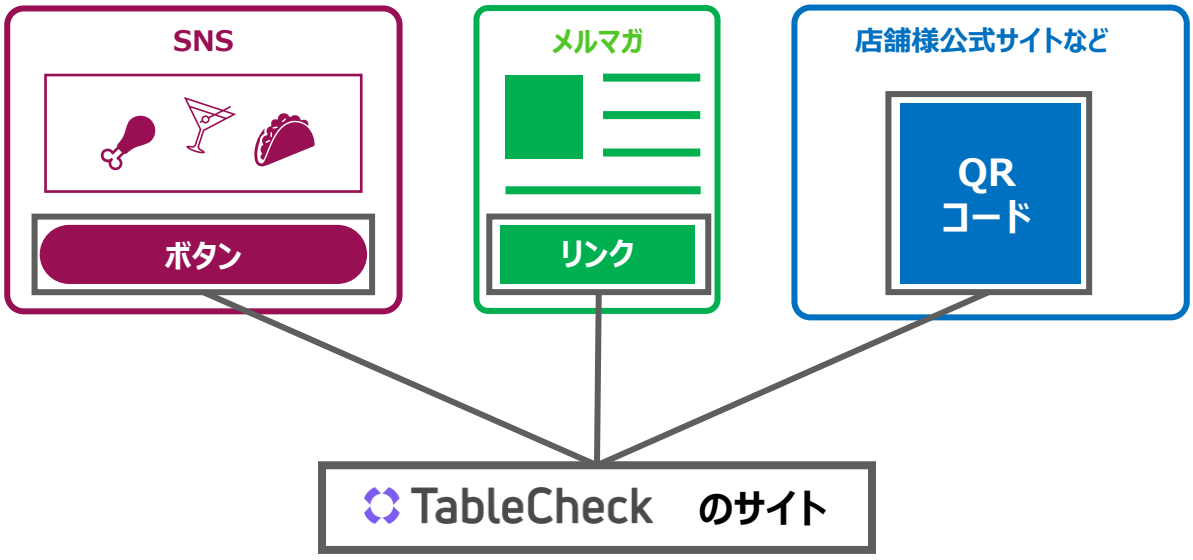
Googleマイビジネスの活用

Click　【Googleビジネス プロフィール⑤】投稿機能の活用

Click　【Googleビジネス プロフィール⑦】テイクアウトの設定方法

『どこへの投稿のリンクから、予約されているのか把握したい！』
次のページでは、そのような時に活用いただける
【予約経路のモニタリング方法】をご紹介します！

★貼り付けるリンクにパラメーターをつけよう！



貼り付けるリンクにパラメーターをつけることで、
各リンク先からどれだけの予約があったか、月間レポートで効果測定が可能です

TableCheck 基本URL	https://www.tablecheck.com/shops/WebID/reserve
Facebook用	https://www.tablecheck.com/shops/WebID/reserve?utm_source=facebook
Instagram用	https://www.tablecheck.com/shops/WebID/reserve?utm_source=instagram
X (旧twitter)用	https://www.tablecheck.com/shops/WebID/reserve?utm_source=twitter
LINE用	https://www.tablecheck.com/shops/WebID/reserve?utm_source=line

＜注意＞
メニューグループのURLにパラメーターを付ける場合、下記のように「?」ではなく「&」へ！

https://www.tablecheck.com/shops/WebID/reserve?menu_lists[]=MenuGroupID&utm_source=facebook

Click　SNSやメディア別予約ページURLを作成したい（予約経路の計測）

TableCheck